

Interview

CSR 経営を現場第一線に徹底する

2005年10月に創業以来の取組みを再整理し、「CSRの考え方」を策定したNTT西日本グループ。安心・安全な社会の実現に貢献するNTT西日本グループのCSRに対する取組みとCSRに寄与するソリューションの方向性について、大竹伸一常務取締役・ソリューション営業本部長にうかがった。



NTT西日本 常務取締役
ソリューション営業本部長
大竹 伸一氏

CSRは価値創造活動である

——昨年10月に御社では、創業以来の取組みを再整理し、CSRの考え方を策定されましたが、NTT西日本のCSRに対する考え方からお聞かせください。

大竹 近年企業不祥事が頻発する中、世の中の企業に対する信頼感が失われつつあります。そうした状況下でステークホルダーからの信頼を得ることが「企業の持続的発展」の必要条件になると考えています。

NTT西日本グループのCSRは、お客様・地球環境・地域社会に対する「社会的価値の増大」、株主の皆様に対する「経済的価値の増大」、社員に対する「人間的価値の増大」を図ることで企業価値を高めていく「価値創造」活動であると考えています。これは法令・社会的規範の遵守や有用な製品・サービスの提供といった、いわば義務的な発想である従来の社会的責任の範疇をこえた能動的な発想で、ブロードバンドサービスの提供あるいは自治体・地域社会と連携したソリューションなど弊社の強みである情報通信サービスにおける技

術・資源・ノウハウ等を活かし、この3つの価値を高めていくことでユビキタスな情報ネットワークによる安心・安全かつ持続可能な社会作りにも貢献したいと考えています。

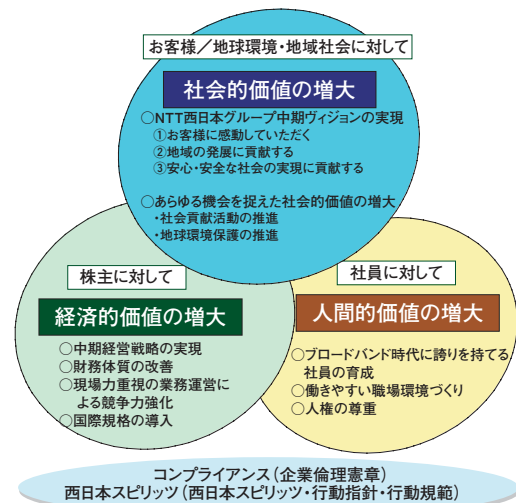
「社会的価値の増大」について、例えば光ブロードバンドの活用により過疎化や高齢化などの問題を抱える地域社会の活性化に貢献するなど、私どものブロードバンド・ユビキタスの技術は産業構造や国民生活を変革する力を持っていると思います。さらに、省電力化施策を推進し、ITを活用した社会全体の効率的なCO₂排出削減に努めるなど環境負荷の削減も弊社の責務の一つだと考えています。「経済的価値の増大」については、中期経営戦略の実現、財務体質の改善などを進め、株主の皆様に対する経済的な価値を高めていきたいと考えています。「人間的価値の増大」については、ブロードバンド時代に誇りを持てる社員の育成や人権を尊重した働きやすい職場環境作りにも取り組んでいきます。

CSRは経営の重要な柱である

——御社のCSR推進体制について、お聞かせください。

大竹 社会貢献や地球環境保護や情報セキュリティなど、全12の各種推進委員会を横通して、更なるCSR活動の推進を図るため、社長直轄の「CSR推進会議」を平成17年10月に設置しました。

また、総務部内にCSR担当を設



NTT西日本グループのCSRに対する考え方

置し、CSR活動報告書の発行やHPでの情報公開により社会的認知の向上を図るとともに、社内に対しては全社員のCSRの理解度を把握し、研修を行い、意識向上を図るなど、社内外への浸透度を深める取組みを行っています。

CSRは幅広い企業活動である

——詳細は、本インタビューに続く各論でご紹介しますが、環境（EMS）、情報セキュリティ（ISMS）、社会貢献など具体的な取組みの概要をお聞かせください。

大竹 EMSについては、2000年2月に制定した西日本グループ地球環境憲章に基づき紙資源節減、温暖化防止、廃棄物削減について2010年に向けた中長期目標を制定して取り組んでいます。具体的には、電話帳・電報台紙・事務用紙の純正パルプ使用量抑制、電力使用・社用車排出・ガス・燃料消費によるCO₂排出量抑制、撤去通信設備の削減、土木・建築工事等の廃棄物の削減などについて環境セルフチェックと監査部門による環境監査を行い実行管理に努めています。

また、社内のセキュリティレベルの向上を目指し、ソリューション営業本部及び各支店、NTTマーケティングアクトグループ10社、NTTネオメイトグループ全社で情報セキュリティシステムの英国標準規格「BS7799」及び国内標準規格「ISMS適合性評価制度」の認証を、西日本最大級の規模で取得するなど、NTT西日本グループのセキュリティ対策

は国内外の標準規格をクリアしお客様の信頼にお応えしています。

社会貢献についても、単なる金銭的援助だけではなく「企業市民」として社会と共生していくかが重要であり、例えば地域の環境美化・保護を目的とした社員・家族・OBによる「環境クリーン作戦」や、耳や言葉の不自由な方が外出先でご利用いただく「電話お願い手帳」の発行など環境保全、文化醸成、社会福祉など多岐にわたる分野で継続的に取り組んでいます。

CSRに寄与するソリューションを積極的に展開する

——CSRを企業の競争力強化、企業価値向上を図る鍵として、積極的に推進しようという企業が増えています。御社では、これまで培ったノウハウをベースに、CSRに寄与するソリューションを展開されていますが、基本的な方向性をお聞かせください。

大竹 市民社会の成熟と共に消費者の意識も変化しつつあり、企業を全面的に信頼するのではなく、信頼できる企業を選別するという流れが形成されてきています。

CSRがますます重要視される昨今、法整備の面を取ってみても、企業の責任を厳格化する方向にあります。それに受身的に対応していくのではなく、より積極的、能動的にCSRに取り組む、いわば「攻めのCSR」が自社の様々なリスクを回避し社会的責任を果たすのみならず、お客様の信頼を獲得し、企業価値の向上、ビジネスチャンスの拡大

にまでつながっていくことに多くの企業が気づき、取組み始めているのだと思います。

NTT西日本グループでは、これまでお客様と築き上げてきた「安心・安全・信頼」の実績を通じ、自ら蓄積してきた様々なノウハウを活用し、人的・組織的対策、物理的対策、技術的対策、そして監査・診断の対策カテゴリーに分類・体系化した、あらゆるセキュリティ脅威に対するトータルセキュリティソリューションを、CSRの一環としてセキュリティ強化に取り組むお客様に提供しています。

また、環境保護の視点からも資産を有効に活用する「グリッドコンピューティング」ソリューションやエネルギー消費削減に寄与するTV会議、e-ラーニング等のソリューションも積極的に提供しています。

CSRを企業風土として定着させる

——最後に、今後のCSR推進活動の方向性をお聞かせください

大竹 まずCSRの基本的な考え方を踏まえたNTTグループのCSR憲章を策定するとともに、日々の仕事が直接的・間接的にCSRに貢献していることを社員に認識・浸透させるため、CSR小冊子の作成、全支店へのキャラバン、更には、「CSRの日」の設定を行うなど、NTT西日本グループ全体に社会的・経済的・人間的の3つの価値創造に向けた自律的な活動を促し、CSRが価値創造活動であることを企業風土として定着させていきたいと考えています。